

ANNUAL REPORT

2021

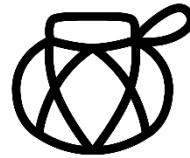
事業報告書

2021 年度

TAKETOMIJIMA

REGIONAL

FOUNDATION



一般財団法人
竹富島地域
自然資産財団



Contents

目 次

Greeting

ご挨拶

2021年度の一般財団法人竹富島地域自然資産財団年次報告書発刊にあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は3年目となりました。この間にワクチン接種が進展し経口治療薬の使用も始まろうとしています。治療を受けておられる皆様のご回復をお祈り申し上げると共に、これまでにお亡くなりになられた皆様に心よりお悔やみ申し上げます。また、医療従事者の皆様、支援に取り組んでおられる全ての皆様に感謝申し上げます。

当財団におきましても、財団理事はじめ関係者も感染しないことを念頭に、感染防止策を実施するととともに、活動が制限される中、可能な範囲で環境保全活動を行ってまいりました。しかし、観光客激減による入域料の減収が長引いたことで財団の運営自体もままならない状態に見舞われております。新型コロナウイルス感染症の収束には、まだ時間がかかるとは思いますが、財団の使命を果たしていくため、コロナ対応期間中の経験と知見も活かしながら、自然環境保全活動および自然環境トラスト活動を進めていこうと考えております。

引き続き、竹富島地域自然資産地域計画に基づき、竹富島を訪れる皆様方より協力金をお預かりし、この協力金を原資に島の再生を図ってまいります。何卒ご理解ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

一般財団法人竹富島地域自然資産財団

理事長 上勢頭 篤

Taketomijima



竹富島

竹富島は、東京から南西に約2000キロ、沖縄本島からも約400キロ離れた場所にある周囲9.2km、人口わずか360名程度の小さな小さな島です。沖縄の原風景が色濃く残る集落に美しいビーチを求めて年間約50万人もの観光客が訪れており、島では近年、オーバーツーリズムや観光開発など多くの問題に頭を悩ませています。そこで私たちは、これらの問題の解決に望むべく、2019年5月 一般財団法人 竹富島地域自然資産財団を立ち上げました。当財団では来島者から入域料を募ることで島の保全活動や財団運営を行っています。

Financial Report

決算概要

今期の入域料収入約730万円は第1期比の76.1%と
未だにコロナの影響を色濃く受け低水準となっております。
反面、竹富島入域者数からの徴収率は緩やかながら向上しています。

貸借対照表

令和4年3月31日現在

科 目	当年度	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	4,081,728	
未収金	376,200	
仮払金	1,723	
流動資産合計		4,459,651
2 固定資産		
(1) 基本財産		
普通預金	3,000,000	
基本財産合計		3,000,000
(2) 特定資産		
トラスト事業資産	2,310,000	
特定資産合計		2,310,000
(3) その他固定資産		
什器備品	62,080	
機械装置	2,035,860	0
その他固定資産合計		2,097,940
固定資産合計		7,407,940
資産合計		11,867,591
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	47,685	
預り金	28,565	
未払費用	115,000	
未払法人税等	70,000	
流動負債合計		261,250
負債合計		261,250
III 正味財産の部		
1 指定正味財産		
拠出金	3,000,000	
寄付金	1,210,000	
指定正味財産合計		4,210,000
(うち、基本財産への充当額)		(3,000,000)
(うち、特定資産への充当額)		(1,210,000)
2 一般正味財産		
(うち、特定資産への充当額)		7,396,341
正味財産合計		(1,100,000)
負債及び正味財産合計		11,606,341
		11,867,591

Financial Report

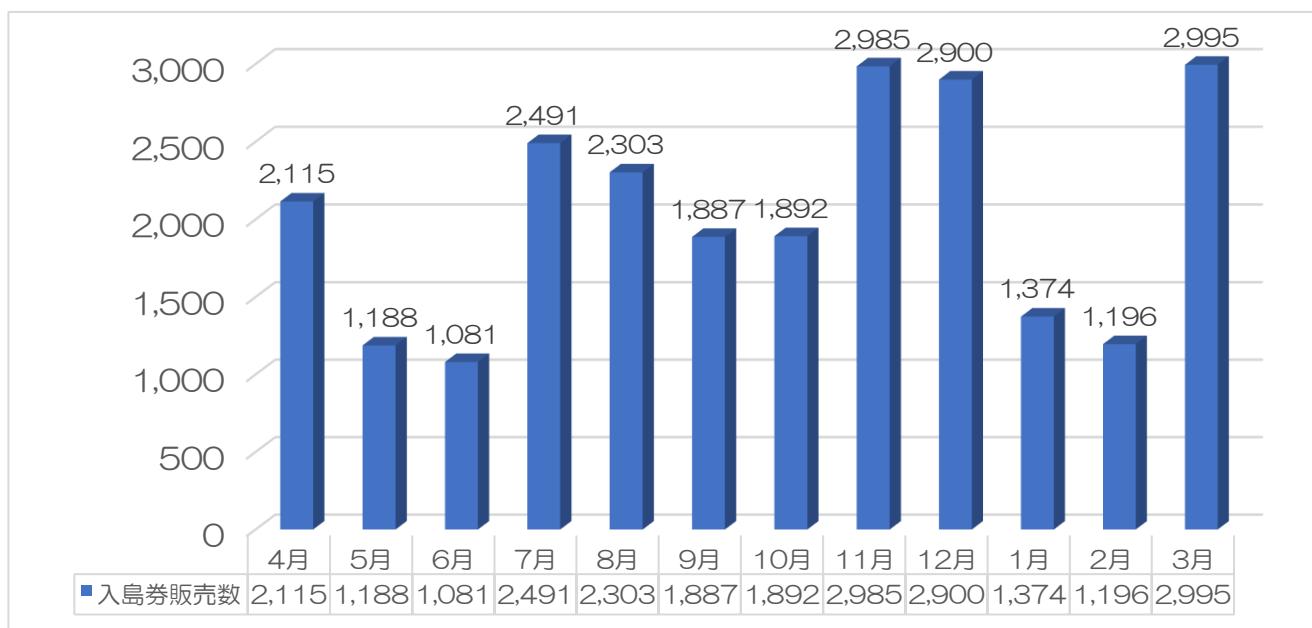
正味財産増減計算書

令和4年3月31日現在

科目	当年度		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
入島料収入	7,322,100		
受取補助金等	32,000		
受取寄付金	112,397		
一般寄付金	112,397		
雑収益	10,344		
受取利息	60		
雑収益	10,284		
経常収益計		7,476,841	
(2) 経常費用			
事業費	3,233,418		
旅費交通費	15,620		
通信運搬費	2,594		
消耗什器備品費	66,363		
消耗品費	142,025		
広告宣伝費	352,235		
燃料費	5,150		
賃借料	1,247,680		
保険料	206,630		
諸謝金	30,000		
新聞図書費	25,532		
支払手数料	382,723		
事務用品費	51,446		
減価償却費	678,620		
雑費	26,800		
管理費	2,339,738		
役員報酬	510,000		
給料手当	550,000		
諸謝金	110,400		
福利厚生費	5,000		
会議費	12,710		
旅費交通費	239,709		
通信運搬費	139,227		
消耗什器備品費	0		
消耗品費	2,757		
広告宣伝費	8,505		
光熱水料費	112,616		
賃借料	18,500		
事務用品費	82,562		
租税公課	10,487		
接待交際費	2,592		
支払手数料	501,180		
減価償却費	30,993		
雑費	2,500		
経常費用計		5,573,156	
当期経常増減額			1,903,685
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0		
(2) 経常外費用	0		
法人税等	70,000		
法人県民税	20,000		
法人市民税	50,000		
経常外費用計	70,000		
当期経常外増減額	△ 70,000		
当期一般正味財産増減額			1,833,685
一般正味財産期首残高			5,262,656
一般正味財産期末残高			7,096,341
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
拠出金	0		
トラスト寄付金等	190,000		
当期指定正味財産増減額	190,000		
指定正味財産期首残高			4,020,000
指定正味財産期末残高			4,210,000
III 正味財産期末残高			11,606,341

入域料収受実績

	入域観光客(名)	入域料(円)	支払数(回)	収受率(%)	備考
4月	17,174	634,500	2,115	12.3	4/12～「まん延防止等重点措置」
5月	10,564	356,400	1,188	11.2	5/23～「緊急事態措置」
6月	4,933	324,300	1,081	21.9	
7月	9,484	747,300	2,491	26.3	
8月	16,411	690,900	2,303	14.0	
9月	10,172	566,100	1,887	18.6	～9/30「緊急事態措置」
10月	15,795	567,600	1,892	11.9	
11月	21,936	895,500	2,985	13.6	
12月	22,787	870,000	2,900	12.7	
1月	13,701	412,200	1,374	10.0	1/9～「まん延防止等重点措置」
2月	6,403	358,800	1,196	18.6	～2/20「まん延防止等重点措置」
3月	28,700	898,500	2,995	10.4	



Support

財団の活動は、入域料や寄付を頂いた方々に支えられています。

また、入域料の収受は島内企業や団体のご協力により行われています。

皆様の温かいご支援に対し、心から厚く感謝と御礼を申し上げます。

入島券販売事業所一覧

2022.03.31.現在

民宿 泉屋	民宿 内盛荘	民宿 大浜荘	手作り工房 KUMA	アトリエ 五香屋
NPOたきどうん	民宿 小浜荘	高那旅館	茶屋たかにや	Bar 月灯り
新田観光	民宿 新田荘	星のや竹富島	アイランド	友利レンタサイクル

島内賛同事業所一覧

2022.03.31.現在

民宿 泉屋	民宿 内盛荘	民宿 大浜荘	手作り工房 KUMA	アトリエ 五香屋
民宿 小浜荘	高那旅館	茶屋たかにや	Bar 月灯り	新田観光
民宿 新田荘	(有) 竹富島交通	喜宝院蒐集館	NPOたきどうん	丸ハレンタサイクル
レンタサイクル竹富	ぼちサイクル	嶺本レンタサイクル	南西観光株式会社	内盛商店
海風～シーカジ～	若竹丸	やど家 たけの子	たきどうん	イナフク
とも倉	縄文や	アイランド	まつていや	竹富民芸館
民芸喫茶マキ	たるりや	そば処 竹の子	食事処 やらぼ	ガーデンあさひ
ひまわり	やまもり食堂	民宿 マキ荘	民宿 松竹荘	パーラーターミ
民宿 なかもり荘	Cago			
一日一組の宿 すかぶら	染織工房 Boo-House	HIMAWARI WORKS (株)	HaaYa nagomi-café	くちゅ&パラダイスカフェ

※島内賛同事業所とは説明会等に参加して賛同書を頂けた事業所を指す

寄付者一覧

2022.03.31.現在

サカイ マサユキ 様	カンキ キヨコ 様	オノ カズコ 様	シミズ コウジ 様
やいまSDGsシンポジウム 実行委員会 様			

物品寄付者一覧

2022.03.31.現在

タナカ アイコ 様	クボタ アヤ 様	シマナカ ユミコ 様	ウチモリ アサカ 様
カメイ ヤスノブ 様	トミモト マモル 様	オオヤマ ミツコ 様	アヨイ 様
イノマタ ヒトミ 様	オオヤマ エイイチ 様	カワグチ ヒロシ 様	イシダ アイ 様
サカイ マサユキ 様			

Activities Results

当財団の活動は「地域自然資産法」に基づき竹富町が作成した「竹富島地域自然資産地域計画」に沿って行われています。

2021年度取り組み総括

月	日	会議・周知広報	保全活動
4月	2日	SDGs会議（星のや・川平公民館・日テレ）	
	4日		粟畑に小豆を播く（カンナ-ジ）
	7日		モチ麦の収穫（カンナ-ジ）
			グックの修復（清明御嶽）
	9日		除草と耕起（カンナ-ジ）
	13日		瓦葺き用池を拡大（旧与那國家）
	15日	生物・植物学習ツアー検討会	
	16日		フクギ・ヤシモ苗の除草（事務所）
	19日		ガヤ種子の採取
	21日		瓦葺き用土の練込み（旧与那國家）
	23日	まいふなーツアー対応	
		トラスト検討会	
	24日	パークボランティア総会（環境省石垣）	
	26日		ガヤ畑予定地の開墾
5月	11日		伝統作物を作付け（小中学校）
	13日	耕作放棄地活用中長期計画（星のや・JA）	
	14日		魚垣再生についての調査（カイジ）
	16日		クマミ畑の除草（カンナ-ジ）
	17日		瓦葺き用土の練込み（旧与那國家）
	19日	財団の財産目録の作成・確認	
	26日	SDGsシンポジウム開催に向けた意見交換会	フクギ・ヤシモ苗の除草
	28日	財団監査	

Activities Results

月	日	会議・周知広報	保全活動
6月	3日		ガヤ畠予定地の開墾
	10日		一周道路/竹富港フクギの除草作業
	11日	定例理事会	瓦葺き用土の練込み（旧与那國家）
	13日		栗の収穫（カンナ-ジ）
			海浜清掃
	14日	トラスト検討会議	海洋漂着ゴミ分別、整理
	17日	まいふなーツアー取材	
	18日		工務工房倉庫の古材移動作業
	21日	令和3年度評議員会	
	28日	財団・星のや定例会	工務工房倉庫の古材移動作業
7月	29日	役場との協議（入域料、集落支援員）	
	30日		瓦葺き用土池合体（旧与那國家）
	3日	SDGsシンポジウム開催に向けた意見交換会	
	6日		ガヤ畠予定地のギンネム駆除
	7日	竹富町頑張る地域応援プロジェクト採択	
	8日	三好協力隊業務引き継ぎ会議	
	9日	農泊推進研究会	
	12日	ウッドチッパー贈呈式（大山栄一氏寄贈）	
	19日	定例理事会	
	20日		フクギの除草
	24日		台風後清掃（港・コンドイ浜）
	25日		ホーシ道清掃
	27日		栗畠の除草作業（カンナ-ジ）
	30日	理事会資料を評議員に配布	

Activities Results

月	日	会議・周知広報	保全活動
8月	2日		祭祀供物WS用プランター制作
	4日	財団設立者・協力事業者等へ年次報告書発送	
	6日		瓦葺き用池除草作業（旧与那國家）
	8日	ウッドチッパー利用検討会	
	9日		港ゴミ箱改良
	10日	収益事業検討会	
	18日	島内観光休業のSNS発信/石垣港ポスター設置	海洋漂着ごみの分別
			ペットボトルの減容（圧縮）
	19日	JTA機内誌「coral way」財団の原稿入稿	
	21日		ウッドチッパー-外来種駆除（アイヤル道）
	24日	市民憲章石垣市会長の表敬訪問	
	25日		粟の精穀作業（カンナ-ジ）
	27日		緑豆のガラ飛ばし（カンナ-ジ）
	31日		小中学生 瓦土踏み（旧与那國家）
9月	1日	やいまSDG'sシンポジウム会議	
	6日		星のや粟の精穀WS
	10日		小豆の収穫（カンナ-ジ）
	13日		台風後清掃（コンドイ浜）
	14日		海洋漂着ゴミ分別、整理
	15日		落花生の収穫（カンナ-ジ）
	16日	カンナージ畑の運用検討会	
	27日	サンゴ礁フレンドシップ会議	フクギの除草
	29日		カンナージ畑の測地作業
10月	4日	まちなか探検ツアー企画会議	
	11日		台風後の清掃
	19日	環境省沖縄奄美自然環境事務所新所長 来所	
	24日	市民憲章全国大会	
	29日		草焼きと漉き込み（カンナ-ジ）
	30日		ピンの植え付け（カンナ-ジ）

Activities Results

月	日	会議・周知広報	保全活動
11月	1日	環境省（岡野氏、山本氏、大嶽氏）会議	祭祀供物WS用プランター制作
	2日		作付け計画（カンナ-ジ）
	3日		修学旅行に伴う島内ゴミ拾い
	5日		畠草刈り（カンナ-ジ）
	8日	中間監査	
	10日		一周道路/竹富港フクギの除草作業
	12日		全面耕起、枝木処理（カンナ-ジ）
	16日		石除去作業（カンナ-ジ）
	20日		麦の種まき（カンナ-ジ）
	21日	やいまSDGsシンポジウム開催	
	29日	第6回竹富島地域自然資産運営協議会	
	30日	海洋プラスチックのアップサイクル視察	
12月	13日		麦の植え付け（カンナ-ジ）
	18日		粟と大豆の植え付け（カンナ-ジ）
	24日		麦畠の除草（カンナ-ジ）
	25日	旧与那国家住宅指定管理検討会	
	27日	財団事務所屋根崩れ検証	
	28日	星のやバトナ-シップ意見交換会	
1月	6日	重要文化財旧与那国家住宅指定管理者応募	
	9日		海浜清掃（キトッチ）
	11日		漂着ペットボトルの減容
	17日	キャンギ植樹検討	
	19日		フクギ植樹（環状線沿い）
	21日	やいまSDGsシンポジウム実行委員会より10万円寄付	
	24日	石西礁湖自然再生協議会サンゴ認証会議	フクギ周りの除草（環状線沿い）
	25日	ジヨ-ジアタウン交流会（国際交流基金アジアセンター）	
	28日	沖縄Maas会議	除草作業（カンナ-ジ）
	29日	気候講演会	
	31日		海洋漂着ゴミの分別、発送

Activities Results

月	日	会議・周知広報	保全活動
2月	2日	竹富伝統の輪作についてヒアリング	
	9日	旧与那国家住宅現状確認	
	10日	石西礁湖自然再生協議会	
	14日	石西礁湖自然再生協議会	
	15日	財団広報誌（第10号）発行	
	16日		ペットボトルキャップ回収開始
	21日	竹富町地域おこし協力隊採用面接試験	
	24日	沖縄MaaS退会手続き完了	
	25日	石西礁湖自然再生協議会	軽石除去作業（竹富港）※公民館主催
3月	13日		粟の種まき/ニンニク畠除草（カンナージ）
	18日	玉木氏（東京農業大学）による講演	
	24日	事務所屋根修理作業	
	25日	竹富島地域自然資産運営協議会開催 入島料がチャガチャ設置（反利レゾサイル）	
	27日	サンゴ活動家山崎志緒さん訪問	ペットボトルの減容
	28日		フクギの除草
	6日	竹富島資料映像撮影 (北海道大学、岡山理科大学)	
	9日	竹富町へ要請書提出	

竹富島地域自然資産地域計画概要

目的

1. 亜熱帯の自然と島民の暮らしが育んだ竹富島の貴重な生態系と農村集落景観を保全・再生します。
2. 目的1を達成するための調査研究、技術の継承、人材育成を推進するとともに、必要な協力体制と財源を確保します。

事業内容

① 生態系と農村集落景観の保全・再生事業

- ◆ 島民の暮らしによる自然利用（生活、農業、文化等）の継承・復活事業
 - ◇ 植生維持・再生 ◇ 耕作地再生 ◇ 水辺再生 ◇ 景観維持・美化
 - ◇ 海域再利用 ◇ 自主利用ルール制定・実施
- ◆ 外来生物駆除・島の暮らしと関わりの深い植物の植栽による生態系再生事業
 - ◇ 外来生物駆除 ◇ 植生再生

② 調査研究、技術継承・人材育成、協力体制構築事業

- ◆ 調査研究、モニタリング事業
 - ◇ 陸域生態系の調査研究 ◇ 海域・海岸生態系の調査研究
 - ◇ 島材の利活用方法の調査研究 ◇ 地域自然環境保全等事業の効果検証
- ◆ 技術継承・担い手育成事業
 - ◇ 自然環境保全活動技術継承・リーダー育成
 - ◇ 島材活用技術継承・リーダー育成 ◇ 島の自然と文化伝承者育成
- ◆ 周知・広報事業
 - ◇ 広報誌発行 ◇ ホームページによる周知・広報
 - ◇ 注意・案内板の設置 ◇ 協力要請・島内案内ポスター・チラシ等の発行

Action

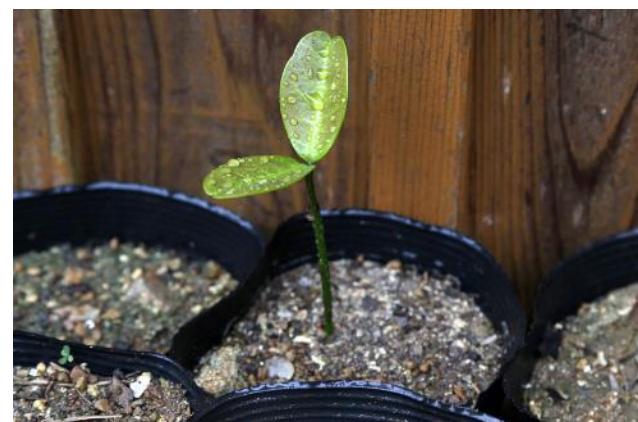
島民の暮らしによる自然利用
(生活、農業、文化等) の継承・復活事業

植生維持・再生

防風林の植林

目的：環境変化や経年劣化。行政サポートや住民意識の低下により御嶽の森や防風林の植林が減少し、まちなみの輪郭部を形成する防風林植林が急務であることから防風林の植林を行う。

活動：一昨年度より管理をしているフクギ苗の植樹および水やりや除草作業を行っています。草刈りの際、新たな雑草の生育を阻害する効果を期待して、フクギ周りの低い芝系の植物などはあえて残して育成状況を見る実験をしています。また昨年度から始めたフクギとキャンギ（イヌマキ）のポットでの育成も順調に進んでおり、島民から苗がほしいという声も出てくるなど島内でも植林の輪が広がりつつあります。



耕作地再生

耕作放棄地の再生

目的：竹富島には耕作が行われなくなり放置された農地が多くある。全国的に耕作放棄地の増加による景観の悪化や生態系への影響、伝統農法の消失が問題視されている。さらに竹富島では祭祀に関わる供物が島内で生産できなくなってきたことなどが懸念されており、この状況を打破するため2019年より活動を開始した。

活動：今年度よりパートナーシップ協定を結んだ星のや竹富島と共同での耕作放棄地の再生作業を行っています。粟や大豆、緑豆（クマミ）落花生（ジーマミ）島ニンニク（ピン）の植付けや収穫を行いました。古老に教わりながら小豆を苗の列と列の間に植えるという、種子取祭で歌われるユーカイ唄にも書かれている農法や昔ながらの道具を使った粟の脱穀を行うなど竹富島の伝統的農法を学びました。



Action

景観維持・美化

海浜清掃

目的：竹富島は3つの集落に分かれている。それぞれの集落が担当する海浜エリアがあり、定期的な清掃作業を行っているが、間に合わないほどの海洋漂着ゴミが流れついている。景観だけでなく生物や環境への負荷を軽減するためにも海浜清掃を行う。

活動：台風後のコンドイ浜や竹富東港の清掃作業や竹富小中学校と連携した海洋ゴミステーションの制作、漂着ペットボトルの減容など活動は多岐にわたりました。本来、財団で行う予定だった海浜清掃は今年度設立された「エシカルアイランド竹富（代表：上勢頭巧）」の活動で行い、集めた漂着ごみを財団ホールで分別保管。ペットボトルなどは減容作業を行い一定量溜まった時点で石垣島などに輸送していきます。



景観維持・美化

ゴミ問題の解決

目的：竹富島ではゴミ処理施設の対応能力オーバーという問題から、ほとんどゴミ箱の設置がない。これまで来島者の方々へはゴミの持ち帰りを推奨していたが、ポイ捨てが散見される上、ゴミを拾った方が捨てる場所もないという問題点もありその解消のためゴミ箱の設置と環境保全の啓蒙を行う。

活動：昨年度から引き続き、竹富港に設置したごみ箱の管理を行っています。ゴミ箱の設置により島内（特に港周辺）での不法投棄は確実に減っています。ただし、分別の向上を促すためゴミ箱自体の改良を行っている一方、未だに分別せずに捨てる方が多く見られます。また、新たな試みとして家庭内で出たペットボトルの蓋を回収しビーチクリーン用のポリ袋を作成する循環型再生プロジェクトを開始しました。



Action

自主利用ルール制定・実施

観光に関するルール制定

目的：竹富島には多くの観光事業者があるが、島全体としての観光ルールや営業情報などの島外向け発信ツールがないこと、島内清掃や台風後対応などの島内連絡手段がないことが問題視されてきた。そこで 各事業所と連携し問題点の解決を探りながら島内の環境保全に向けたルールを制定し、観光管理に努める。

活動：一昨年に設立された「観光を考える会議」とともに上記問題点を解決する第一歩として島内観光事業関係者46名による①清掃協力 ②営業情報③クレーム情報 ④不審者情報や救急対応など「島内の情報共有」を目的としたLINEグループを作成しました。現在は主にコロナウィルス感染拡大防止による休業情報や島内清掃に関する情報共有などに利用しています。



拝啓、観光客の皆様。

残暑お見舞い申し上げます。

皆様お見舞い申し上げます。

毎日が熱くておりません。いかがお過ごしでしょうか。

さて、この夏の新型コロナウイルス感染症の

八重山海道における感染拡大の状況を受け

私たちは、実的

休業することにしました。

竹富島にはおじいおばあがたくさんいます。

島のいいじいを3500名の島民。

この小さな島には3500名の島民。

お医者さんもたった一人。

ひとりでも感染した時のことを考えると・・・

このコロナ禍が落ち着いたときには

気持ちも、体も、心も、ありませんが

ご迷惑をかけると、ありませんが

島を守るために、決断です。

どうか、竹富島から
新型コロナウィルス感染者を
出さないためのご理解と
ご協力をお願い申し上げます。

休業事業所

【貸自転車】友利レンタサイクル・丸八レンタサイクル・横本レンタサイクル
レンタサイクルたけとみ・レンタサイクル竹ちゃん
【水牛車】新田観光 【バス観光】竹富島交通（路線バスのみ運行 ※8/21～）
※飲食店や宿泊施設、お土産店などの情報は含まれておりません
※再開時期等は各事業所HP等でご確認お願いいたします

外来生物駆除・島の暮らしと 関わりの深い植物の植栽による生態系再生事業

外来生物駆除

外来種の駆除と処分

目的: ギンネムをはじめとする外来種を伐採などの方法により、島の暮らしと関わりの深い植物の減少を防ぐ。

活動: ギンネムなどに覆われ見えなくなっているアイヤル道のアジラ保全のため外来種駆除を行いました。草刈り機やチェーンソーなどを使い道沿いにうっそうと茂る外来種植物などを伐採しました。今年度からウッドチッパー（大山榮一氏寄贈）を利用し、現場で伐採した枝木を粉碎していきます。粉碎されたウッドチップは、腐敗させた後、肥料として使っていきます。



Action

周知・広報事業

協力要請・島内案内ホスター・チラシ等の発行

島の現状活動のPR①

目的：来島者や島民が活動への理解を深められるよう、様々なメディアで発信を行う。

活動：10月に石垣市で開催された「市民憲章運動推進第55回全国大会」に理事が登壇し竹富島憲章や入域料に関する講演を行いました。11月に開催された「第1回 やいま SDGsシンポジウム～THE EARTH VOICE」ではパネリストとして登壇し財団設立の意義や入域料導入の経緯の説明しました。また会場に展示ブースを設け財団の活動や入域料に関する周知広報をしました。さらに12月には「竹富町教育サミット」にて八重山の子ども達に向けて財団の自然環境保全活動の紹介をしました。



Action

協力要請・島内案内ホスター・チラシ等の発行

島の現状活動のPR②

目的：来島者や島民が活動への理解を深められるよう、様々なメディアで発信を行う。

活動：引き続き、財団の活動や入域料の収受状況をお知らせする季刊誌の発行を行っています。今期から竹富島に訪れた方にも見ていただけるよう港の待合所にも設置しました。また竹富町からの広報支援でJTA機内誌「coralway」11/12月に1P広告を掲載いただいている。入域料の返礼品はデザインのマイナーチェンジをくり返しながら竹富島方言ステッカーをお渡ししつつ島内外の方々から頂ける草玩具やポストカードをプレゼントしています。竹富港に設置した広報用のホワイトボードには新たに「動物を見に竹富島を歩こうMAP」を掲示し竹富島の生態系の周知を行っています。



Action

ホームページによる周知・広報

島の現状活動のPR③

目的：定期的な更新でホームページを見たくなるような仕組みづくりを目指す。また日本語以外での多言語表記を行う。さらにはホームページ以外の媒体での発信も図る。

活動：財団ホームページ内では定期的な活動レポートの更新を行うとともに季刊誌がHP上でも観覧できるようにしました。また、島外からの返礼品寄附などがあった場合の紹介もHP上で行っています。

財団インスタグラムでは財団の活動報告をはじめ島の生態系や返礼品紹介、コロナや種子取扱などにより大規模な観光事業者の休業がある場合の案内を発信しています。また地域おこし協力隊の応募促進などもインスタグラムを利用しています。

財団HP「季刊誌ページ」

2021年



vol.009号

2021年11月発行

○海洋ゴミステーション設置

財団インスタグラム

【公式】竹富島地域自然資産財団

竹富島は人口350名程度の小さな島。

その小さな島で2019年に立ち上げた 竹富島財団の活動記録を発信していきます！

taketomijima.okinawa/

プロフィールを編集

広告ツール

インサイト

ショップを追加

ストーリーズハイライト



技術継承・担い手育成事業

島材活用技術継承・リーダー育成

伝統的建築技術の継承

目的：竹富島固有の町並みを生み出す伝統的な建物など。その建築技術を新しい世代に正確に継承する。

活動：国の重要文化財として登録されている旧与那國家住宅の瓦ぶきに使用する粘土作りを昨年度に引き続き行いました。毎日の補水を行いながら定期的な混ぜ込み作業と雑草の除去をしました。8月には竹富小中学校の生徒と一緒に土踏みや理事長による「なぜ竹富はかわらぶきの家となったか」についてのレクチャーを行いました。12月には修復作業が完了し竹富町教育委員会への引き渡しが行われ、令和4年4月より旧与那國家住宅の指定管理者委託を財団で受ける予定です。



Action

調査研究モニタリング事業

地域自然環境保全等事業の効果検証モニタリング

島の子供への環境教育

目的：島の環境が将来を守っていくために、島の子供達へ「環境保全」の意識を根付かせる教育活動を行う。

活動：農耕文化が希薄になりつつある現代において、次世代を担う子供達に島の農耕に触れてもらう機会を作ろうということで、竹富小中学校敷地内の畑で農作物の植え付けを実施しました。竹富島での作物植え付け収穫時期一覧「竹富島の24節気農曆」を使って約100m²の畑に粟、大豆、小豆、綠豆、ゴマ、落花生、きゅうり、トマト、サツマイモを植え付けました。



調査研究モニタリング事業

陸域生態系の調査研究

島の生態系研究調査

目的：島の生態系の多様性の保つため、維持管理を行う。そのための調査を行う。

活動：竹富町教育委員であり生物学者である島村賢治氏の協力の元、花城御嶽やコンドイ浜周辺における生態系調査を実施しました。そのなかで絶滅危惧IAに属するリュウキュウチシャノキを発見。「極めて貴重で天然記念物として保護すべき」とのことでの、GPSにより位置情報を記録し、その後もヤシガニやシロアリの巣、ヤエヤマヒトツボクロという蘭の一種など豊かな生態系を見るることができました。訪れる時間帯によっても見られる生物が変わることで、今後も調査を継続していきます。



Public Relations

島内季刊紙（B4）

01 2021年入島料収受実績

2021年1月～の入島料収受実績は下記のようになります。再び発出された緊急事態宣言の影響もあり相変わらず大量厳しい収受実績となっておりますが、7月から若干の回復傾向を見せております。今後ともご協力をお願いいたします。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
入島料収受数	921	643	2279	2115	1188	1081	2491

お知らせ

財団ホームページより今後2年間の年次報告書をご覧いただけます。財団2年目の活動報告や決算書、島内賃用事業所／入島券販売収受事業の一覧などがご覧いただけます。財団のホームページより「財團について」→「島下駅」「ブリッジリース」からダラシンドロできますので是非ご覧ください。

竹富島 財団

TEL:090-1131-0207
FAX:090-85-2800
MAIL:info@takekomi-jima.or.jp

竹富島地域自立活性化財団 季刊誌
てーどうん JOURNAL
2021年8月号 Vol.07408

竹富島では、そんなに遡りあまり便利とは言えない自然体で暮らせる心地が

私たちは入島料で、誰か忘れてしまったものを拾

01 設立2年目を迎えて

世界規模に拡大した新型コロナウイルス感染症は、日本農業協同の小さな竹富島にも多くの影響をもたらしました。2010年5月に創立したよりお手の会合の私たちの活動報告、入島料や支給金による協力金の派生、3密を避けるための会合の運営など、竹富島の取り組みに向けた多くの取組所がある「兼まつて活は合う」ことからなります。年初に実施した豪雨が活動日程により延期され、延期の要請を頂に心を痛めました。

しかし、財団では、私たちや他の人の想いばかりではなく、連携者をはじめ竹富島、竹富島地域自立活性化財団、そして訪れる皆様の想いが込められています。私たちには、自然循環の循環や田舎地図ラスト法を通じて島を再発し、次世代へバトンを繋げるという大きなシグネ（役割）がござります。

引き続き、竹富島を訪れる皆様方より協力金を募りたいと思います。財団のホームページより「島下駅」「ブリッジリース」からダラシンドロできますので是非ご覧ください。

年次報告書の能力を継ぎます。

年次報告書

竹富島の農業文化が世界に広がる

<div data-bbox="441 2606 664 2615

Public Relations

島内季刊紙（B4）

ペットボトルキャップの回収にご協力ください

ご家庭で出たペットボトルのキャップを集めるとビーチクリーン用のポリバッグに生まれ変わります



財団事務所（旧ビジターセンター）前に回収ボックスを設置していますのでご家庭で出たペットボトルキャップのリサイクルにご協力ををお願いいたします

※この循環型再生プロジェクトを利用して「竹富町指定ゴミ袋」の製造を計画中です

一般財団法人
竹富島地域自然資産財団

〒907-1101
沖縄県石垣島町竹富字高瀬207-1
TEL:0980-85-2800 FAX:0980-85-2801
MAIL:info@taketomi-jima.okinawa

竹富島地域自然資産財団
てーどうん JOURNAL

2022 Fall Vol.10.



01 やいま SDGs シンポジウム

八重山はサステナブル（持続可能な）事業、活動に携わっている個人や団体が一堂に会したイベント「第1回やいまSDGsシンポジウム～THE EARTH VOICE～」が久米島イターナショナル石垣リゾートにて開催されました。会場は久石垣市長をはじめ多くの行政関係者や市民団体、環境保護団体に開かれていた。講師のスヌード、朱慶子やオンライン視聴する人などに開かれて、活動をPRされました。財団の代表としてシンポジウムに登壇した理事長は、財団設立の意義や入島料金の改徴を説明し、「我々島の人の命を守りたい」と熱く語りました。



竹富島ではあまり見られない自然体で、私たちに忘れてしまっている

02 麦の植え付け

小学校や保育園に通う子どもたちと保護者が参加して、麦の植え付けが行われました。まず会場でタネをまく場所の小石を取り除き、1列に並び、苔原屋で麦を撒き付けてもらいました。子どもたちは農耕的な経験を楽しめ、年長の子が幼い子に施して教えるながら、全員で作業を楽しみました。タネまき後には、前田一さんが持つ3種の種を植し、全員で麦の収穫を有難くしました。前田は持つものある「もじ玉」で種類の名前を讀んだのです。環境に合わせて全般的に実りが少なく不作だったため、今度は以前栽培し収穫作であった「さいたま」を採用しています。



（2022.2月発行）

ホワイトボード@かりゆし館

一般財団法人 竹富島地域自然資産財団
今週の保全活動

- ・ビーチクリーン
- ・集落内のゴミ拾い
- ・栗の収穫
- ・フクギの植林

竹富島財団の日々の活動は
公式 HP や Instagram を
のぞいてみてください



公式 HP



Instagram

「入島料」へのご協力をお願いします

入島券（うつぐみチケット）300円は

入島料
券売機



カウンター



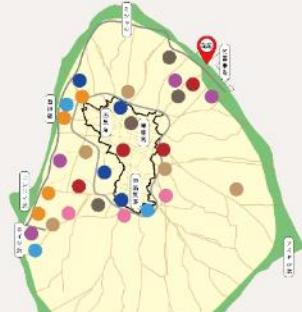
にてお支払いいただけます

財団機関紙「てーどんジャーナル」
ご自由にお取りください

歩こう
竹富島を、
動物を見に、

発見しやすいスポット

- チュウカラガシカシキドリ
- ナンカツツノハシゴカク
- キンシタクニコウ
- オカトネコリ
- シジンカラクナ
- オオシマツリボシ（夜間のみ）
- ナガミニ（夜間のみ）
- チュウカラハシゴハシ（夜間のみ）



一般財団法人 竹富島地域自然資産財団調査（2021）



リッキーハシゴハシビン（白喉・ホトトギス）
沖縄県の鳥類の中でも珍しい種類の鳥で、竹富島では珍しい鳥です。



トキタカ（アカハラハシ）
沖縄県の鳥類の中でも珍しい種類の鳥で、竹富島では珍しい鳥です。



シシタカタカ（ミシシタカハシ）
沖縄県の鳥類の中でも珍しい種類の鳥で、竹富島では珍しい鳥です。



ミカタタカ（アカヒナ）
沖縄県の鳥類の中でも珍しい種類の鳥で、竹富島では珍しい鳥です。



シロハラヒナ（白喉・タリ）
沖縄県の鳥類の中でも珍しい種類の鳥で、竹富島では珍しい鳥です。



オオシマツリボシ（白喉・ベニコウ）
沖縄県の鳥類の中でも珍しい種類の鳥で、竹富島では珍しい鳥です。



ナガミニ（ナガミニ）
沖縄県の鳥類の中でも珍しい種類の鳥で、竹富島では珍しい鳥です。



チュウカラハシゴハシ（白喉・アカヒナ）
沖縄県の鳥類の中でも珍しい種類の鳥で、竹富島では珍しい鳥です。

28

ANNUAL REPORT 2021

Public Relations

竹富島入島料ガチャガチャ



入島料へのご協力ありがとうございます。
いただいた入島料は竹富島の環境保全活動等や
自然環境トラスト活動に利用されます。



入島料へのご協力ありがとうございます。
いただいた入島料は竹富島の環境保全活動等や
自然環境トラスト活動に利用されます。



Public Relations

新規返礼品

竹富島方言ステッカー【改訂版】
(2022.03~)

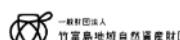


入島料へのご協力ありがとうございます



TAKETOMIJIMA_ZAIAN

ホームページ インスタグラム
入島料を使用した保全活動の様子は
財団インスタグラムやHPよりご覧ください



この他にも島民の皆様から多数の返礼品を頂いております



About Us

組織概要

名称 一般財団法人 竹富島地域自然資産財団

設立 2019年5月30日

所在地 〒907-1101

沖縄県八重山郡竹富町竹富207-1

目的 この法人は、『竹富島憲章』を遵守し、竹富島地域自然資産保全区域における自然環境の保全及び持続可能な利用の推進のために活動し、島民の心身の健全な発達及び自然環境と文化の保全に寄与し、地域社会へ貢献することを目的とする。

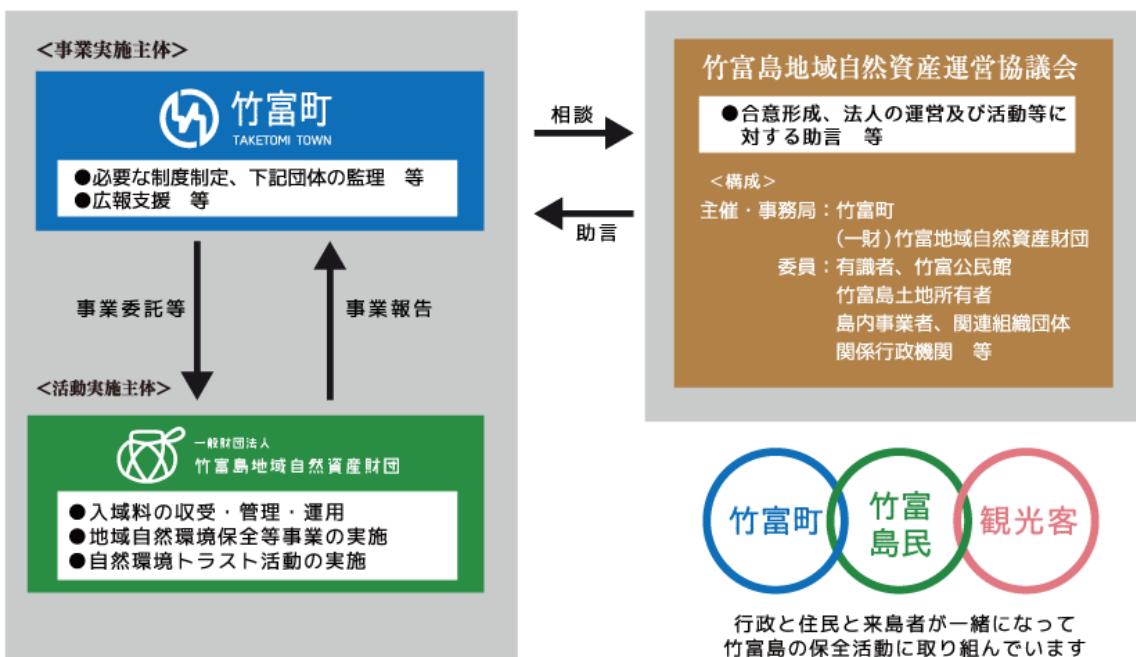
役員 ●理事長：上勢頭 篤

※50音順 ●常務理事：市瀬 健治／水野 景敬

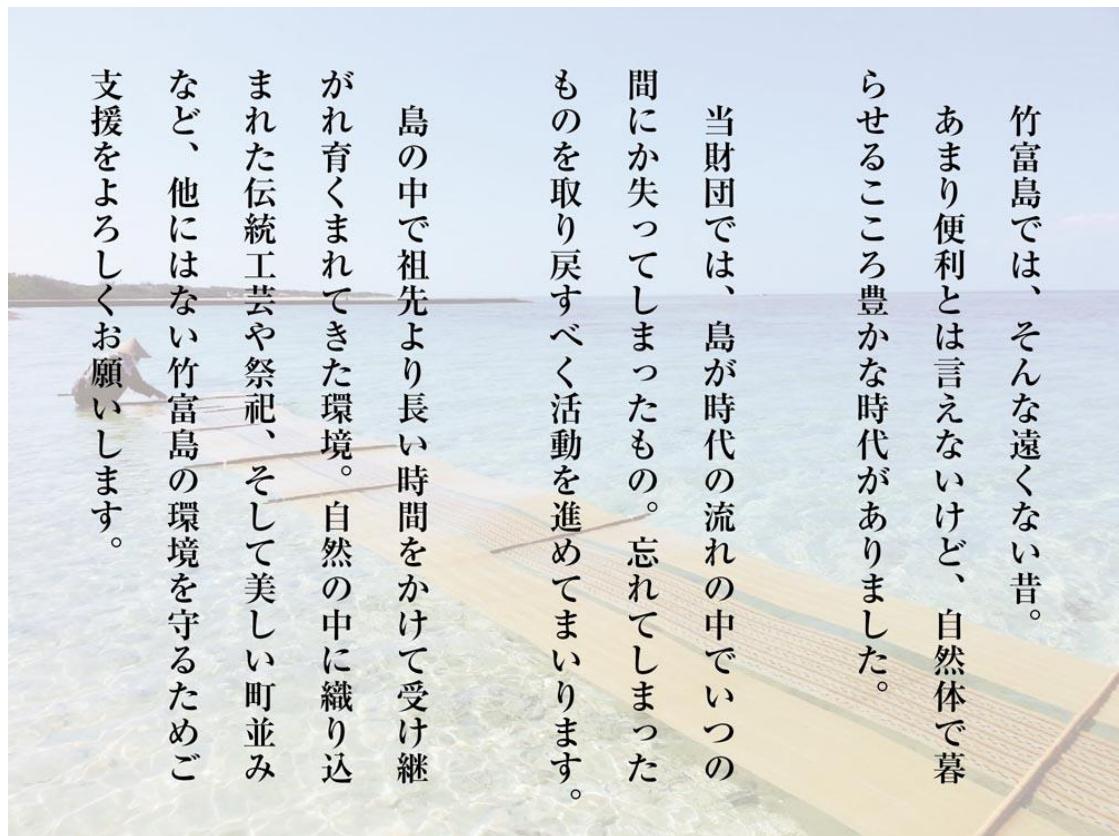
●理事：井上 寛文／上勢頭 輝／上勢頭 巧
上勢頭立人／内盛 正基／大浜信一郎
前本由貴子

●評議員：内盛 正聖／内盛 良枝／大山 榮一
島仲 彌喜／野原 健

●監事：阿佐伊 拓／大政司



Donation



竹富島では、そんな遠くない昔。

あまり便利とは言えないけど、自然体で暮らせるこころ豊かな時代がありました。

当財団では、島が時代の流れの中での間にか失つてしまつたもの。忘れてしまつたものを取り戻すべく活動を進めてまいります。

島の中で祖先より長い時間をかけて受け継がれ育くまってきた環境。自然の中に織り込まれた伝統工芸や祭祀、そして美しい町並みなど、他にはない竹富島の環境を守るためご支援をよろしくお願ひします。

竹富島の環境保全活動のために 寄付をお願いします

寄付の方法

下記申し込みフォームまたは、寄付申込書でお申し込み後、当財団指定の銀行までお振込をお願いいたします

寄付申し込みフォーム

<https://taketomijima.okinawa/dons/donsform>

FAXまたは郵送での申し込み

<https://taketomijima.okinawa/wp/media/format.pdf>

お支払い方法

銀行名 琉球銀行 支店名 [店番号] 八重山支店 [703]

口座種別／口座番号 普通預金／1020723

口座名義

サイ) タケトミジマチャイキシゼンサンザイダン
一般財団法人 竹富島地域自然資産財団

